

6月15日（金）

1番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 豊後大野の売出しは順調か。</p>	<p>① 「本市事業者の販路拡大に対する継続的な支援」、「行政の公正性や公益性を担保し得る基準やスキームを明確にし、若者が後継者や起業家として自立して地域経済の活性化につながる、より直接的で効果的な支援策」について、立案は進んでいるか。 9月にイオン九州と大分県がタイアップして開催する「九州大分うまいものフェア」に向けた「万全な準備」は、どのように進んでいるか。</p> <p>② 「観る観光」から「交流・体験する観光」へ。ツーリズム協会（仮称）の設立に向けての考え方はどのようなものか。 ボランティアではなく「ビジネス化された観光」の確立に向けては、物・金を集中して新たな人材、特に若い世代の起用が必要ではないか。</p> <p>③ 今やインターネットを活用した情報発信が欠かせない。その中で、お互いに登録しあえば新しい情報が届くフェイスブックというシステムが急速に伸びている。豊後大野市も、公式のフェイスブックページを作ってはどうか。</p>	<p>市長</p>	<p>市長</p>
<p>2 コミュニティバスで町へ出て、帰って来れない。改善せよ。</p>	<p>① 市内37路線ある中で、総じて午後の便が少ない上に、スクールバスを除いて発時間が12時台から14時台と、早い時間帯に集中している。このため、コミュニティバスで町等へ出て帰りたい時間に合わないで利用しないとの声がある。 便数や時間帯を改善する必要があるのではないか。</p> <p>② 平成26年3月末までの実証運行期間中は、市民の声・ニーズをどのようにつかむのか。どのような場で、どれくらいの頻度で検討され、運行に反映されるのか。</p>	<p>市長</p>	<p>まちづくり推進課長</p>

16番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 6次産業化における商品開発推進について	① 6次産業化における奨励状況は。 ② 処理加工施設設置の考えは。	市長	市長
2 コミュニティバスの利用状況について	① 実証運行での利用状況は。 ② バス路線の見直しの考えは。	市長	まちづくり推進課長
3 第66回(平成25年度)県民体育大会における対応策について	① 平成25年度の大分県民体育大会は、本市を始めとする豊肥地区を中心に開催される予定である。地元開催となることからして、参加種目や選手育成、選手強化へ取り組みをなすべきではないか。その考えは。 ② 施設整備の充実は。	教育委員長	社会教育課長

3番 和田哲治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 固定資産税の評価基準について	① 合併後の平成18年度及び平成21年度に、この「固定資産評価替業務」が行われ、また平成24年度には3度目となる評価替えが実施されようとしているが、以下について伺います。 (イ) 評価額と課税標準額の算定方法について。 (ロ) 固定資産評価基準は、新市になり統一基準となっているのか。 ② 現在、市の一般財源2億円を投入して実施されている「固定資産(家屋)全棟調査業務」について、以下を伺います。 (イ) 現在、同業務の進捗状況について。 (ロ) 既に「変更契約業務」が執行されているが、その変更理由と、変更内容について。	市長	市長
2 農業労働災害共済事業の拡充について	① 市内全域への拡充を目指した「豊後大野市農業労働災害保険加入組合」。その後の状況について伺います。 ② 市内の農業従事者は高齢化している中、旧大野町で実施されていた共済制度は、農業者より高い支持と評価を得ていた。是非、この復活を切望し、制度の創設を求めます。	市長	農業振興課長

4番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 支所機能はこれでいいのか	<p>豊後大野市が発足して8年目を迎え、これまで機会あるごとに支所機能のあり方について、多くの議員が見直し、改善の要望を繰り返してきました。</p> <p>しかし、行革の名の下にかなわなかったのです。</p> <p>「合併協議会での決定事項です。」という、いつも変わらない答弁の内容で市民への報告も寂しいものです。その協議会では、新庁舎が完成までおおよそ5年間は暫定的な本庁方式を採用する。その他の支所は、当面総合支所方式を維持し、住民サービスの維持向上の観点から、その機能の充実に努める方針でした。</p> <p>8年目を迎え、市庁舎から離れた周辺地域は県内でも高い高齢社会、市民への行政サービスの低下が叫ばれている。</p> <p>本当に、このような職員配置で支所の職員数を減らしていいのか。ぜひ見直し、方向転換をするべきと考えます。</p> <p>市当局は、他の担当課から、また行政懇談会等でどのような意見を情報収集しているのか、今の計画のままでもいいのか伺う。</p>	市長	市長
2 2012 チャレンジデーの総括は	<p>5月30日(水)午前0時から午後9時まで、豊後大野市内で15分間運動をした人の数をカウントして、全国の同じ規模の自治体と競い合うチャレンジデーが開催されました。</p> <p>今年は、豊後大野市全体で参加して取り組んだ第1回目でありました。</p> <p>教育委員会、体育指導員、健康推進室、また多くの市職員等の関係者が中心に準備段階から市民への周知のための広報活動等に尽力されてきました。</p> <p>しかし、結果は参加率29.7%と、私自身想定外の参加率でした。(40,104人中/11,900人)</p> <p>勝負としては、茨城県行方市に負けたことになりませんが、これをどのように検証するかです。</p> <p>介護保険や国民健康保険料の高騰、介護予防の取組、在宅医療の推進、特定検診の受診率向上等を目指している我が市がこのような数字でよいのでしょうか。</p> <p>あらゆる面でこの先どのように取り組んでいくのか、市としての総括を伺う。</p>	教育委員長 市長	社会教育課長

6月19日（火）

10番 佐藤徳宣 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 危険家屋（廃屋）について	① 過疎による空き住宅や倉庫が老朽化し、危険家屋が増えているが、市として把握しているか伺う。 ② 場所によっては学校の通学路等、非常に危険なケースが見られるが、市としての対応は。 ③ 解体や撤去について伺う。	市長	総務課長
2 危険交差点の信号機の設置について	① 市内には重大交通事故が想定される危険な交差点がいくつかあるが、市として把握しているか伺う。 ② 地区によっては県公安委員会に何度か陳情や要望をしていると聞いている。予算の関係で、できないという返事をいただいているようだが、市としてはどう考えているのか伺う。 ③ 危険交差点の信号機の設置について、進む高齢化の中で地域住民の安心安全なまちづくりをどのように推進していくのか。	市長	総務課長
3 再生可能エネルギーと今夏の電力節電について	① 昨年の東日本大震災で福島第1原子力発電所が津波による大きな被害を受け、現在では全国の前発が定期検査等で止まっている。これを受けて国内では脱原発で再生可能エネルギーが声高に叫ばれるようになった。市としては、太陽光エネルギーは採算に合わないとして、考えていないという答弁をしているが、現在も同じ考えか。 ② 大分県は再生エネルギー資源が日本一と聞いている。以前小水力発電について一般質問をしたが、その後の経過と進捗について伺う。また、市として再生エネルギーをどのように考えているのか。 ③ 自治体や顧客に対して、九州では九電が今夏7月からの節電を要請していると思うが、市としての対応、また市民への周知等はどうしているのか伺う。	市長	市長
4 全国神楽大会の開催について	豊後大野市は九州の中でも、神楽が有名な地域として知られている。そこで平成25年認定を目標にジオパーク推進協議会が発足した。 この認定取得を契機として、神楽を市の顔として売り出すために、九州大会若しくは全国大会を企画開催してはどうか。市の考えを伺う。	市長	まちづくり推進課長

6番 小野順一 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 消防体制の充実・強化について	<p>① 新消防庁舎は、現代の情報化社会の最先端技術を駆使した高機能通信指令システムが設置されているが、機能と効果について何う。</p> <p>② 地域によっては、地形、道路等、特別な事情を抱えていることも考えられるが、対応は。</p>	市長	市長

15番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の男女共同参画の現状について	<p>① 男女共同参画社会実現に向けた豊後大野市の取組の現状をお聞きします。</p> <p>② あらゆる分野で男女の差別をなくし、男性も女性も人間として能力を発揮し、活躍できる条件整備をどう指導していくのか。</p> <p>③ 豊後大野市女性職員の課長登用の現状と考え方は。</p>	市長	市長
2 豊後大野市の森林作りについて	<p>① 我が国の森林は危機的な状況です。市としてはどのような対策を講じるのか。</p> <p>② 森林組合との連携はどうか構築していくのか。</p> <p>③ 林道や作業道の荒廃が著しいが、今後の計画は。</p>	市長	農林整備課長

7番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 学校の通学路の安全確保について	<p>登校中の児童の列に車が突っ込み、死傷者が出る悲しい事故が相次いで発生している。国は、全国の自治体、警察へ、通学路での児童、生徒の安全を守るように通達をしている。</p> <p>本市の通学路の現状と今後の安全対策について伺う。</p> <p>① 平成 23 年度中から今日までの登下校中の交通事故の発生状況、不審者情報を伺う。</p> <p>② 文部科学大臣の緊急メッセージを受けて、危険箇所等の把握など安全点検を実施したのか伺う。また、実施後の要望状況について伺う。</p> <p>③ 現場からの意見、要望に対して、道路を管理する市や県と、教育委員会や警察が連携、協働して、安全確保に努めるべきと思う。今後の取組について伺う。</p>	教育委員長 市長	学校教育課長
2 市民の健康づくりについて	<p>本市は介護保険料が実質日本一高い。また、女性の障がい期間は、県内一長い（男性は3位）。</p> <p>このような現状をどのように捉え、今後、健康づくりを推進していくのか伺う。</p> <p>① 国保の特定健診受診率は平成 20 年度に対し、平成 22 年度の伸び率は県内で一番低い。受診率向上の取組を伺う。</p> <p>② 本市の主要死因別死亡率をみると、1 位が、がんで 26%を占めている。がんの検診の受診率の目標値は 50%であるが、現状は目標値以下である。受診率の向上策を伺う。</p> <p>③ 今年度より市民生活課内に健康推進室を設置した。赤ちゃんから高齢者までの健康づくりを市全体で積極的に支援していくために、今後どのような取組を展開していくのか伺う。</p>	市長	市長

8番 長野健児 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 本市農業の方向性について	<p>① 昨年の葉たばこの大量廃作による大規模な農地利用の問題が発生したが、その後の状況について伺う。</p> <p>② 市が掲げた第2次豊後大野市農業振興計画に基づく指針の根拠は。 農業従事者の高齢化、就業人口の減少、そして突然の葉たばこの廃作問題等、不利な要素が山積する中で、平成27年度目標、農業生産額120億円が、果たして達成可能か、考えを伺う。</p>	市長	市長
2 農産物生産体制の強化策について	<p>① 豊後大野市農業と地域ブランド化について伺う。 本市農業振興計画の中にブランド化の推進と明記しているが、その具体的な取組について伺う。</p> <p>② 堆肥センター建設について伺う。 ブランド化を含め、つくりの基本となるのが、土作りである。その決め手となるのが、堆肥であり、これを安定供給するためには本市独自の堆肥生産施設、システムが必要と考えるがいかに。</p>	市長	農業振興課長

12番 赤嶺謙二 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 「震災がれき」の受入れについて	<p>① がれき受入れは、本来自治体間の協定によって行われるものであり、事故が発生した場合の責任は、双方の自治体が負うことになる。 直接には責任を持たない県知事や県議会が、先行決定する手法について、市長の見解は。</p> <p>② 震災がれきの受入れは、市民の理解を得ること、市民生活の安全を約束することが、絶対的な条件と考える。最終処分場を持たない本市は、受入れは困難と思うが将来的な対応も含めて、市はこの問題をどのように向き合うのか。</p>	市長	環境整備課長
2 市職員に対する人権侵害のその後の対応について	<p>本年4月、本市職員の誹謗・中傷のデマ情報を市外の女性に提供した罪で、同じ職員である課長が処分された。</p> <p>2年間にわたる執拗かつ陰湿極まりない誹謗・中傷、そのことにより著しく人権を侵害された被害者のことを考えると、「戒告」はあまりにも軽すぎるのではないか。</p>	市長	市長